

社会福祉法人いきいき福祉会  
2024 年度 いきいき福祉会 法人事業計画

2024 年 3 月 18 日 理事会承認

2024 年 3 月 27 日 評議員会

はじめに

2017 年度法人教育委員会の発足から約 7 年となります。制度改定や情勢変化等、雨風にも十分耐えうる組織・チームづくりに向け、学習をはじめ事例検討会等、確実に丁寧実績を積んできました。2019 年度からの累計当期活動増減差額の平均は 6,108 千円・必要利益比 81.4%の到達に留まり、黒字であっても決して順調とは言い切れません。それでも大変厳しい情勢の中での介護事業を、紹介業者を利用せず人材を確保し、各事業所管理者を筆頭に、自分たちが立てた事業所事業計画や予算立ての実践等は確実に前進しています。委員会活動で目指してきた、職員間での相互理解・相互支援や誰もが安心して発信できる職場づくりにより、「わたし・そしてチームそのもの」が変化してきた事によるものが、大きく影響している結果と言えます。

少子高齢化の時代のなか、益々情勢は厳しく・激変を余儀なくされる中で、私たちは地域に無くてはならない存在と持続可能な法人事業活動に向け、更なる追求が必要です。例えば小さくとも粘り強く「私たちならではの」取り組みに向け、予算編成方針とリンクして 2024 年度法人事業計画を位置づけます。

### 【法人基本方針】

私たちは、人権としての介護・福祉をめざし、社会福祉法人として、誰もが人間らしく安心して住み続けられる（くらしのなかに介護がある）まちづくりを連携する全ての方々と共にすすめていきます。

#### 1.2023 年度法人事業計画の方針とその実践について

①新任役職者を位置づけ、法人は「組織・チーム」として成長・発展を目指します。

主任 2 名を任命し、事業所における主任業務の確立含め実践してきました。

②新型コロナウイルス感染症対応を継続します

秋にこまくさの家（石川）にて、数名感染症発生がありましたが、クラスター化を食い止め収束しました。5 類移行したとは言え、死者数も多い事から、常に感染と隣り合わせと言わざるを得ない状況に変わりはありません。

③法人長期計画を策定します

2023 年度 9 月～役職者会議にて、高齢化のスピード・背景・経済状況・ヤングケアラー・ビジネスケアラー等情勢学習を開始。12 月は法人事業所に必要なこと・望まれること等、全役職者へアンケートをとり、意見を取りまとめています。2024 年度予算編成方針に記載の通り、黒字経営ではあっても、必要利益に 5 年間の平均利益額は未達で厳しい状況です。こうした事も踏まえ、引き続き役職者会議の中で議論を積み重ね、2024 年度上期中での完成を目指します。

④デイサービスでの ICT 化と LIFE 加算開始します

ケアプラン・ヘルパーステーションと同一ソフト「カイポケ」へ 6 月から試験運用を開始し、8 月完全に変更となり、LIFE 加算を開始するに至りました。ICT 化に向けては、もうひと工夫が必要な状況です。

⑤法人寄付金を呼びかけます

こまくさの家・長房の大規模改修工事に向け、八王子市へ補助金申請を行いました。加えて 11 月八王子・たま健康友の会や全職員へ、寄付金を呼びかけ 2024 年 2 月時点で約 150 名・約 1,200 千円の寄付金が集まりました。外壁・空調・屋上防水の工事を予定しています。

⑥フードバンク八王子えがおとの連携：フードバンク・フードパントリーを継続します

2022 年度比を倍加する状況で、フードパントリーが動いています。特に若者の失業・貧困が目立ちます。

⑦介護安全委員会・教育委員会の継続開催・法人事例検討会の開催をします

月 1 回の継続開催が実現し、介護安全委員会は虐待防止委員会を兼ね、議論を開始しています。

法人教育委員会の取り組みについては、別紙報告とします。

⑧with コロナ 地域に根差した事業活動の更なる具体化を図ります

市内社福法人マインド八王子・就労支援 B 型事業所のディープフォレストパン屋と月 1 回パンの注文と配達を 6 月から開始しています。また NPO 法人なみき福祉会で作成されたクッキー等の菓子類や手作りキルト商品等も月 1 回定期販売会を開始しています。障害者の社会参加の一役を担う連携が始まっています。

別紙報告あり。

⑨with コロナでの介護事業活動から、実践の根拠を明確にし「その人らしく生きる」を支える介護を目指します

⑩三多摩福祉会との連携強化

## 2.まとめ

2023 年度法人事業計画の実践は、勿論・過不足はありますが、それでも計画した内容をより豊かに実践してきた事は確かです。特に私たち社会福祉法人が地域 NPO と連携し、生活困窮者への支援を平日フルで対応するフードパントリーをはじめ、障害者の社会参加を促すための障害雇用事業所との連携は、意義ある社会活動と位置づけられます。ケアプランでは「802 カフェ」として、包括旭町と連携し毎月の学習会を企画し、そこでのパントリーの実践報告等行い、情報を拡散しています。確実に、私たちの法人の事業活動が地域に根差し活動が拡散し始めていることがわかります。

## 3.2024 年度法人事業計画について

① 働きつけやすい法人に向け、職員の処遇改善を行います（就業規則変更へ）

- ・新設・主任ケアマネ手当：5,000 円
- ・年末年始休暇：12/31～1/3 → 12/30～1/3（計 4 日間に 5 日間に拡大）
- ・時間単位の年次有給休暇の導入：導入初年度として年間 2 日間分を当てはめる
- ・法人特別支援手当の増額（介護職員処遇改善支援手当対象事業所以外）：4,000 円→9,000 円

② こまくさの家・長房の大規模改修工事を実施します

- ・八王子市へ 2023 年度申請した補助金交付時期を確認しながら、大規模改修工事を実施します。  
対象範囲：外壁工事、屋上防水、エアコン入替 なお LED についても補助金事業を追求します。

③ 居宅支援事業所の体制を強化します

- ・2024 年度 4 月より社保加入 1 名増員します。年度を通し増員を追求していきます。

④ ケアプランセンターの体制補強のため、相談室を別室（健生会へ賃貸契約）に設けます。

- ・更衣室に相談室を設けます。（ケアプラン・ヘルパーステーションにて費用負担）
- ・相談室が個室となる事で相談者のプライバシー確保が実現します。

④ 職員の配置転換を行います

- ・2024 年 3 月 4 日に 2024 年度職員配置について（別紙）を发出しました。

⑤ 地域密着型通所介護事業所を認知症型通所介護事業所へ刷新します。

- ・内閣府の調査では、2025 年には約 5 人にひとりが認知症になると予想されています。65 才以上の高齢者の約 20%が認知症を発症するとされています。居宅支援事業所・訪問介護・認知症高齢者共同生活介護の事業所がある私たちの法人は、こうした時代に地域に存在し続けていく持続可能な法人として認知症への取り組みを強化していきます。

- ・事業転換の時期として 2024 年 9 月頃を目指します。
  - ・職員の配置転換はどの法人に於いても課題のひとつです。しかし、こうした情勢のなか介護の質をより高めていく時「認知症介護」への力量向上は、切り離すことは出来ません。こうした観点からどの職員がどの事業所へ配置転換となっても、力量向上に向け展開できる法人の強みを活かしていく事を位置づけます。
- ⑥ 訪問介護事業所のヘルパー確保を目指します。
- ・2021 年度～2023 年度末にかけ、登録ヘルパーは計 14 人（常勤換算 4.0 人）の方々が退職となりました。70 代以上の方が 11 人・平均年齢 70 才です。ご自身の体調問題をはじめ、配偶者の健康問題等、さまざまな背景があります。
  - ・介護保険制度創設から出発した「登録型ヘルパー」の働き方は、こうした実情から大きく変化し、安定した収入を確保して働きたい「非常勤型」へと移行します。「いきいきで働きたい」という方を如何に確保するかが課題です。数名ですが、こうした方々が生まれてきています。資格の有無を問わず、まずは人材確保に向け引き続き取り組んでいきます。
- ⑦ 法人長期計画の策定を完了し、当面の課題を法人全体で共有します。
- ⑧ グループホームにおける経理伝票入力・利用者預り金の廃止に向け、業務改善を図り・かつ金銭管理をより安全性の高いものにしていきます。
- ・「買い物コネクト」や「co-op デリ（宅配）」を導入。買い物企画は企画として実施していきます。これらにより「介護支援への集中」を高めていきます。
  - ・更に本部内 PC に経理ソフト MJS を 1 ライセンス追加し、施設からの入力を本部へ移動なく対応できるように遠隔入力を導入します。限りある事務力の有効な活用に向けても研究していきます。
- ⑨ 2024 年度介護報酬改定の加算創設等、連携法人と確認する等して、確実な加算取得に向け動いていきます。
- ・協力医療機関連携加算
  - ・感染症対策向上加算
  - ・生産性向上推進体制加算
- ⑩ 医療・歯科・薬局との日常のつながりを強化し、住み慣れた地域でより安心して住み続けられるための支援を 2023 年度から開始した「連携 Time」の中で更に活かしていきます。
- ⑪ NPO 法人フードバンク八王子えがお：フードバンク・フードパントリー 月～金曜 10 時～16 時  
 NPO 法人なみき福祉会：就労 B 型支援 クッキー・パウンドケース 月 1 回ビル内で販売  
 社会福祉法人マインド八王子：就労 B 型支援 パン注文・配達 月 1 回
- 2023 年度地域の他法人との連携からの学びが沢山あります。人・法人・事業所・利用者の方々との豊かなツナガリを継続し「いきいき福祉会ならではの！」の活動が、地域になくってはならない法人・事業所へと発展していけるよう努めていきます。
- ⑫ 公益的な活動である「介護よろず相談所」を地域貢献に向けて継続していきます。
- ・「高齢母の特養への入居について」・「サービスを利用したい」・「物とられ妄想」等、介護よろず相談での相談内容は多岐に渡る。相談を次にツナゲル支援が伴うため、一筋縄ではいかない事が多い内容ばかりですが、社会福祉法人の公益的取り組みとして継続して取り組んでいきます。

以上